

平成 26 年度事務事業評価調書

事業コード	03010303	区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 経常
事務事業名	海外留学体験事業	担当部署名	教育課
		作成責任者職氏名	課長 中野光二
		内線	650
第4次総合計画 体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)
	03教育・歴史・伝統	01学校教育の推進	03外国語活動・教育の充実
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成25年度～ 年度)		実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称	義務付け <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>次代を担う中学生を海外に派遣し、その国の人々との交流を通じて、異文化理解を深めさせるとともに、語学力向上の機会を与え、国際化時代に対応できる人材の育成を図ることを目的とする。</p> <p>②内容</p> <p>村立中学生を対象に、夏季休業中に、ホームステイによる現地での生活体験・住民との交流、現地校での授業参加、現地中学生との交歓・交流を行う。</p>	<p>村立中学生(第2・第3学年)</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>幼・小・中学校の英語活動や学習において学んだ英語力を活かし、コミュニケーション能力の育成と、異文化理解を深める。</p>	<p>事業に対するニーズや安全性の確保</p>

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	0	858	928	10,207	10,207			
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金			2,000	2,000			
	使用料・手数料							
	起債							
その他の特財								
一般財源		858	928	8,207	8,207			
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)	0.3	0.4	0.4	0.4			
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	1,664	2,356	2,356	2,356			
総コスト費(千円)(A+C)	1,664	3,214	3,284	12,563	12,563			
人口あたりコスト(円)	275	530	542	2,073	2,073			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	事業参加者	人	20		0%	20	20
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 0% / 1 = 0% (A)

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	第4次千早赤阪村総合計画に、「幼・小・中の一貫した教育を進めるとともに、外国語活動、教育の充実など村の特性を生かした学校づくりを進めます。」とあります。海外の国の人々との交流を通じて、英語が話せる児童生徒を育てる村の政策姿勢に、大いに貢献していると考えられる。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	子どもたちの意欲が感じられ、国際化時代に対応した人材育成に大いに期待できる。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	事務局と学校が協力し合い、事業を遂行している。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	参加者に負担金の徴収しているため、概ね公平だが、予算等により、定員を決めているため、希望者全員が参加できない。

○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	14 / 16	88%	(B)
-------------------------	---------	-----	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
0%	88%	44%	d
a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)			

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
B	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
平成26年度の第1回目の派遣に向け、引き続き取り組んでいく。	

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
派遣に向け、引き続き取り組んでいく必要があると考える。また学校間だけでなく、地域や村にも還元できるよう、地域等を巻き込んだ取り組みが必要であると考えます。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
	/ (Blank) A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
派遣に向け、引き続き取り組んでいく必要があると考える。また学校間だけでなく、地域や村にも還元できるよう、地域等を巻き込んだ取り組みが必要であると考えます。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止